

# 9月議会がはじまります

2024年度の決算を検証する9月議会が4日（木）から開会します。  
本会議では、代表で4名が登壇し、それぞれ、下記のテーマを取り上げて質問します。市民の願い実現に向けて全力をあげます。

9月3日（水）	請願・陳情〆切
4日（木）	本会議（開会）
11日（木）	会派質疑
11～18日（木）	一般質問
18～25日（木）	決算特別委員会
29日（月）	決算特別委員会（市長質疑）
10月2日（木）	本会議
3日（金）・6日（月）	常任委員会
7日（火）	本会議（閉会）



## 市政懇談会のご案内

9月6日（土）14時～ウェル戸畑12F  
ぜひ、ご参加ください

## 質問内容と登壇者

※質問内容は変更となる場合があります。  
※質問日程の詳細は決まり次第、HPにてお知らせいたします。

### 荒川 徹 議員

会派質疑（60分）

- 2024年度決算
- 物価高騰への対策
- 環境行政（地球温暖化防止等）
- 医療機関への支援
- 非核平和都市宣言を踏まえた本市の取り組み
- 下関北九州道路建設
- 自然災害の対策と支援
- 土壌汚染対策法の不備



### 山内 涼成 議員

一般質問（60分）

- 北九州市地球温暖化対策実行計画
- 市内再エネ電力の地産地消
- 環境問題に関連する企業誘致
- ASE ジャパンの誘致
- シティーガーデンBONJONO
- 公契約条例の制定



### 伊藤 淳一 議員

一般質問（60分）

- 手話言語条例の制定
- 災害対策（住宅耐震化／個別避難計画）
- マイナ保険証（最新情報の周知／窓口の混乱／保険料滞納者への対応）



### 永井 佑 議員

一般質問（60分）

- 投票環境の改善
- 就労証明書兼保育要件申立書の提出
- 学校給食無償化と質の向上
- 避難所の空調設備



請願・陳情の締め切りは、9月3日（水）です。※2025年2月議会から、締め切りが「本会議開会前日」に変更されています。

北九州市芸術劇場を訪ねて  
市民とともに歩む文化の力

#### ◆市民の情熱から始まった歩み

7月24日、北九州市民劇場の民谷陽子事務局長と懇談。その後、北九州市芸術劇場を視察しました。

民谷さんからは、戦後まもなく「生活の中に演劇を」という思いで始まった市民の取り組みが、今日の北九州の文化の礎になっていることを伺いました。市民と劇団、そして行政が共に歩んできた歴史は、大きな力となっています。

#### ◆平和を支える文化の力

特に心に残ったのは、市民劇場60年史にある「戦争のない、平和な日本を！その基本を作るのは文化」という言葉です。演劇は単なる娯楽ではなく、人と人を結び、平和や希望を育む存在であることを改めて実感しました。



#### ◆協働で築いた全国に誇れる劇場

北九州では、市民が主体となる運営の工夫が続けられ、行政との協働により専用劇場や制度が整備されてきました。その積み重ねが、全国に誇れる文化環境を築いています。

#### ◆戦争のない、平和な日本を！

その基本を作るのは文化——北九州で受け継がれてきた思いを、私たちも胸に刻みたいと思います。



福岡市議団と視察

FOR ONE MILLION SMILES

# 100万人の笑顔のために

市議会ニュース

2025.9.3  
No. 595



# 2026年度 予算提案

「住民福祉の増進を図る」という地方自治の本旨に基づき、限られた財源は物価高騰対策をはじめ、市民の医療・福祉や、子どもたちの教育、子育て応援施策を充実・向上させるとともに、市内の中小企業、小規模事業者の経営を守るための施策に優先的に配分することを強く求めました。

また本市として、国に対して消費税緊急減税を求めるとともに、軍備拡大の財源のために国民負担増や社会保障費の削減をしないよう強く声をあげることを求めるものとして、267項目(重点事項32項目)を提案しました。



市長に要望書を手渡す荒川団長

## 重点項目

### 《一部抜粋》

- 国に対し、急激な物価高騰から市民生活と本市の地域経済を守るため、消費税を緊急に5%以下に引き下げや、中小・零細業者の淘汰につながり、地域経済を一層衰退させる適格請求書等保存方式(インボイス制度)の廃止を要請すること。本市独自の対策として、大口使用者を除き下水道使用料を一定期間免除することと、指定ごみ袋を無料にすること。
- 高齢者の社会参加促進と、日常生活支援のためタクシーを含む公共交通機関を利用できる「高齢者福祉乗車券」等、施策を充実させ、加齢性難聴者の補聴器購入助成制度を創設すること。
- 自治体の責務である食育の推進のため、「義務教育は無償」の憲法原則を踏まえ、市立小・中・特別支援学校の給食費を無償化すること。

市民の声を 市長に届ける!

# 北九州市に申し入れ!



文書はHPにて公開中  
コチラからチェック

血倉山  
ロングライダー

## 再開判断の見直しと事故原因の 究明を優先すべき

「夜景にダイブ」——美しい夜の景観を売りに4月25日にオープンした血倉山ロングライダー。わずか1か月余りで10人がけがをし、6月3日に利用停止へ。

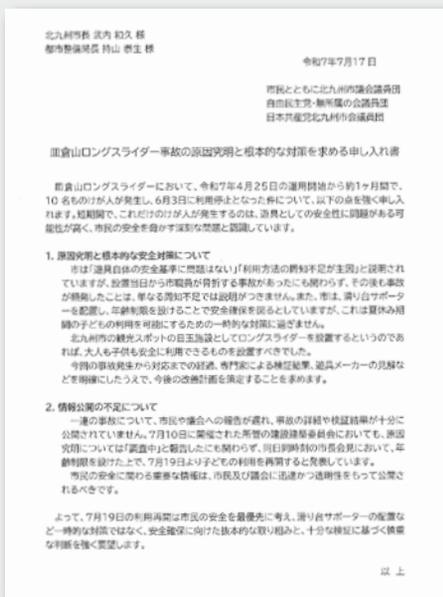
市は9月に、大人の安全な利用方法を検証するために、整形外科など様々な専門家を交えた検討会を設置する方針です。

### 議会無視のシセイ

建設建築委員会がはじめて報告を受けた7月10日、市は「脛が折れた原因は不明」としながら、事故は「使い方の問題」と説明。「再開は時期尚早」など議論していたその同時刻、市長は記者会見で19日の再開を発表しました。被害者への謝罪や補償については触れていません。

7月17日、3会派(共産党・自民党・市民とともに)が連名で緊急申し入れを行いました。安全対策も不十分なまま再開となりました。

8月26日～、平日は再度利用停止となります。



北九州  
空港

## 戦闘機訓練の中止を

6月26日、タッチアンドゴー(連続離着陸訓練)の中止を申し入れました。この訓練は、騒音や事故、市街地上空の飛行などの不安が解消されず、時間や回数が公表されませんでした。

### 空港を軍事利用しないで

27日、航空自衛隊築城基地に所属するF2戦闘機2機が北九州空港の滑走路を使用し、緊急時の滑走路使用や災害時の情報収集活動を想定した訓練が実施されました。

オスプレイ同様、F2戦闘機訓練も重大事故のリスクがあり、市民の命と暮らしを脅かすものです。「やめて」の声を届けるのは日本共産党だけです。



危機管理室へ意見要望する市議団

### 日本共産党各議員の常任委員会配置 (◎委員長、○副委員長、☆議会運営委員)

総務財政委員会	経済港湾委員会	教育文化委員会	保健福祉委員会	環境水道委員会	建設建築委員会
永井 佑	大石 正信	◎高橋 都	伊藤 淳一	○荒川 徹	☆山内 涼成
		宇土浩一郎			